

環境経営レポート2022



対象期間:2021年4月1日～2022年3月31日

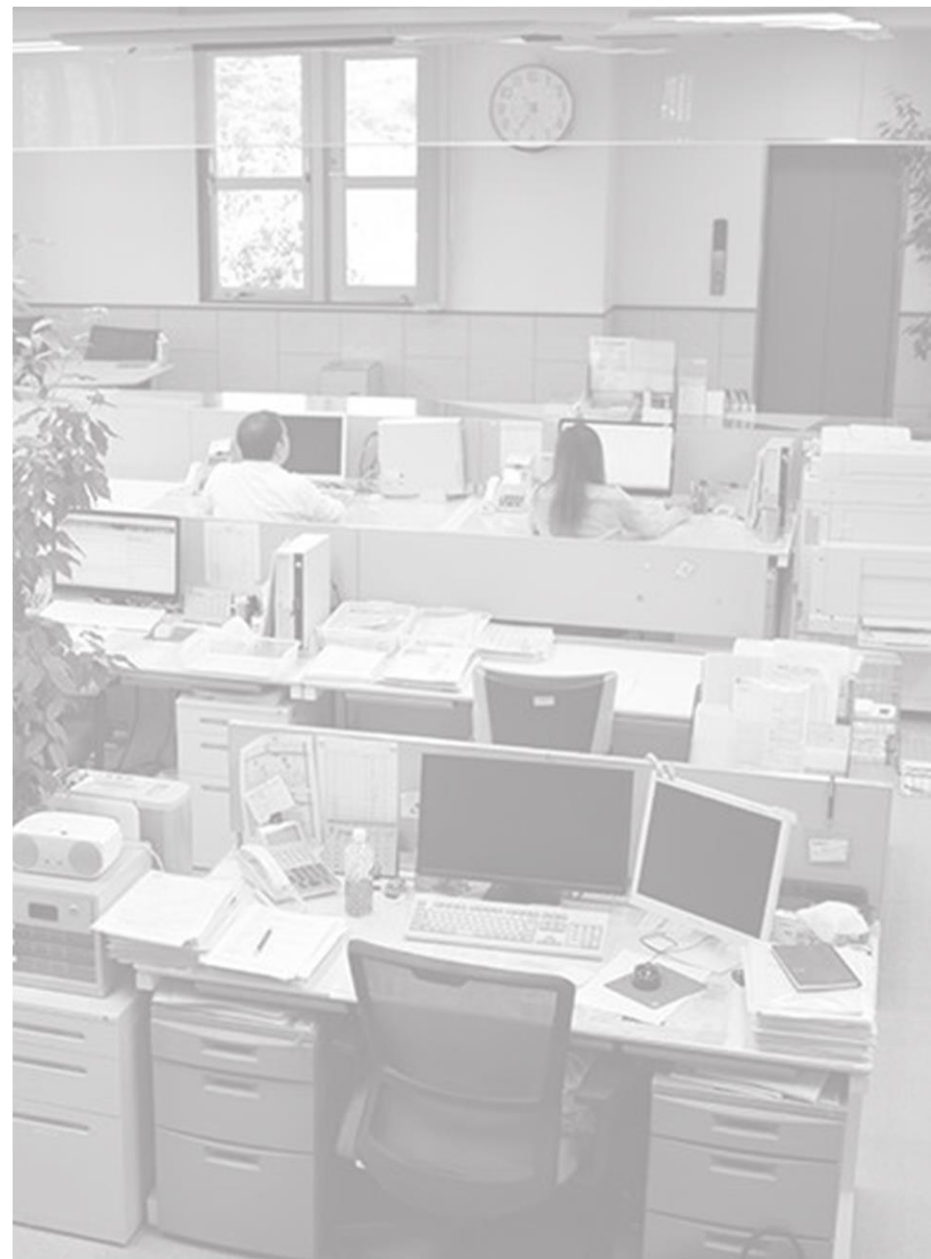


Contents

1. 大栄アメット概要	1
2. 環境理念・環境経営方針	3
3. 実施体制	4
4. 許認可・許可品目	6
5. 施設の概要	8
6. 処理フロー	12
7. マテリアルバランス	13
8. 過去4年間の二酸化炭素排出量等の推移	14
9. 環境活動計画の評価	15
10. 法令順守	24
11. 教育・訓練	25
12. 環境活動	27
13. 大栄環境グループ概要	30
14. 大栄環境グループ取り組み	31
15. 代表者による評価と見直しの結果	33

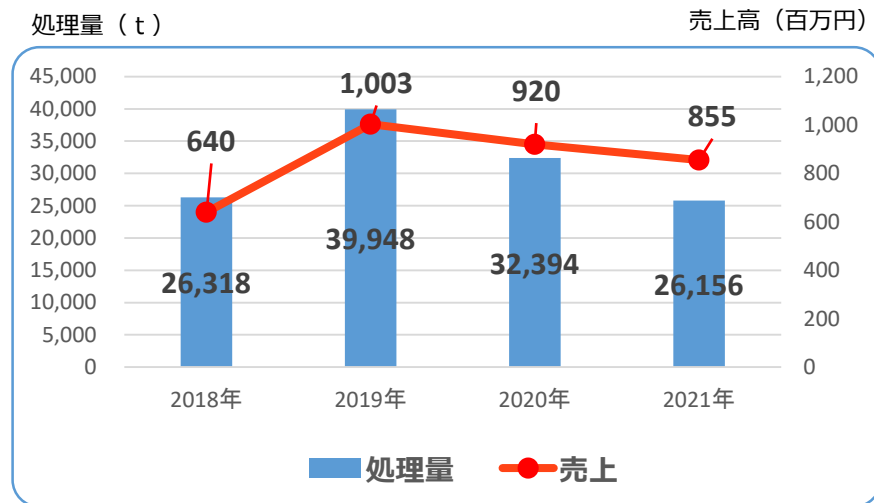
1. 大栄アメット概要

事業所名	大栄アメット株式会社
所在地	京都府福知山市土師宮町1丁目17番地
連絡先	TEL (0773)-20-2020 FAX (0773)-20-2000
創立年月日	平成2年(1990年)5月2日
代表者	代表取締役 中村 功
資本金	1億円
事業期間	4月～翌年3月末
従業員数	45名(男性:31名 女性:14名)
認証範囲	大栄アメット株式会社
対象事業所	本社 京都府福知山市土師宮町1丁目17番地 本部 京都府福知山市土師宮町1丁目38番地 第2処理場 京都府福知山市字正明寺小字向野15番2ほか2筆 第3処理場 京都府福知山市字川北小字キロクジ13番11ほか3筆 第4処理場 京都府福知山市字堀小字段畑2885番、2521番 安定型最終処分場 京都府福知山市字北山小字大和垣1番5ほか8筆
事業内容	産業廃棄物の収集運搬・中間処理・最終処分、 一般廃棄物の収集運搬、解体工事業
H P アドレス	https://daiei-amet.jp/



■ 事業所概要

■ 中間処理量及び売上高の推移



項目	単位	2018年	2019年	2020年	2021年
産業廃棄物中間処理量	t	26,318	39,948	32,394	26,156
産業廃棄物収集運搬量	t	32,651	36,117	32,133	29,710
一般廃棄物収集運搬量	t	576.1	97.7	896.7	2564.2
産業廃棄物最終処分量	t	15,673	23,345	19,425	12,982
売上高	百万円	640	1,003	920	855
従業員数	人	49	49	44	45
敷地面積	m2	25,303	25,303	25,303	25,303

■ 家屋等の解体工事

項目	単位	2020年	2021年
件数	件	11	15
内訳	元請工事	2	1
	下請工事	9	14
請負金額合計	百万円	24	26



2. 環境理念・環境経営方針

大栄環境グループ 環境理念

私たちは、事業の社会的責任を強く認識し、最良の技術とサービスにより、
人・地域・地球にやさしい企業を目指し、常に挑戦し続けます。

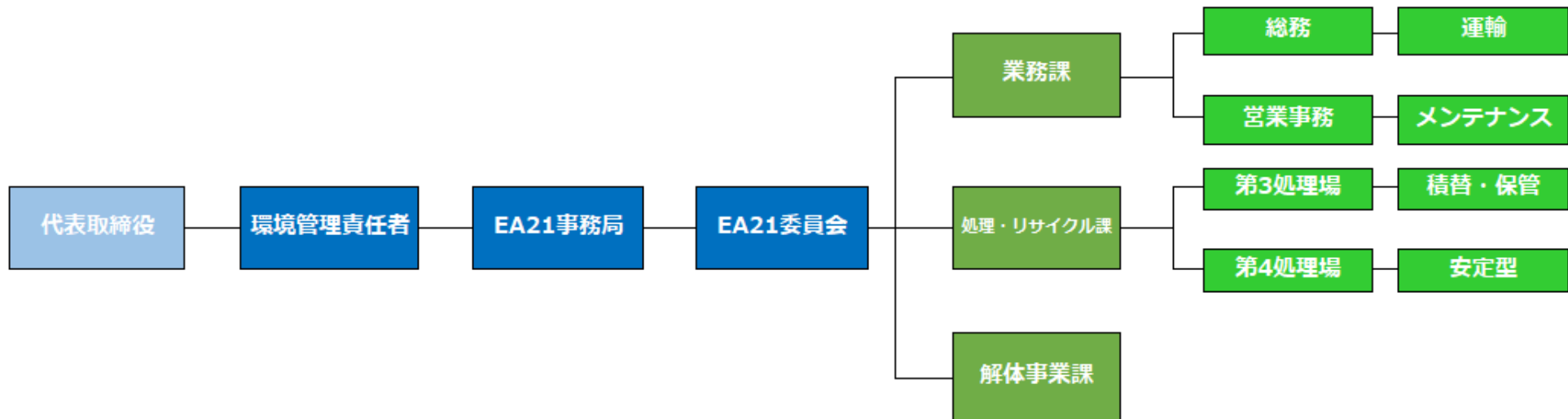
大栄アメット 環境経営方針

1. あらゆる事業活動を通じて、持続型資源循環社会の実現を目指します。
2. 環境関連法規、地域の条例・協定を順守し、地域社会とともに事業を展開していきます。
3. 廃棄物の適正処理・再資源化率の向上及び、事業系一般廃棄物の削減に努めます。
4. 社有車・重機等の燃料使用量及び、電力使用量の削減に努めます。
5. 水使用量の削減に努めます。
6. 当社及び地域の美化、緑化活動に積極的に参加します。
7. 環境経営の継続的な改善を実施します。
8. 環境経営方針は、全従業員に周知するとともに、社内外に公開します。

制定：2017年12月1日
改訂：2020年 4月1日

3. 実施体制

■ EA21組織図



■エコアクション21事務局会議

毎月エコアクション21事務局会議を開催して、環境経営計画についての進捗状況等を情報共有しています。また、各課環境担当者からの意見や提案についての議論を行い、環境負荷低減に対する更なる効果的な取り組みを検討し、全従業員の環境活動へのモチベーションアップにも努めています。

- ・ 取り組み内容の継続的改善
- ・ 環境意識の向上
- ・ 意見・情報交換
- ・ 法令遵守状況の確認
- ・ 各種教育実施状況の確認など

Pick Up



～環境コミュニケーション～

各課においてエコアクション21事務局からの報告・連絡事項の伝達を行うとともに、環境経営計画の目標達成に向けての各種取り組みについて話し合ったり、実施した取り組みの効果等について意見交換しています。

■ 任務分掌表

役割・責任・権限

代表者	事業所の代表者であり、かつ環境経営システムに関する全ての責任と権限を有する。 ① 環境経営方針の策定及び見直し ② 経営における課題とチャンスの整理、明確化 ③ 実施体制の構築、役割・責任及び権限を定め従業員に周知、経営資源の用意 ④ 環境経営全体の評価、見直し及び必要な指示 ⑤ 環境管理責任者及びEA21委員の任命 ⑥ EA21マニュアルの承認 ⑦ 環境経営目標、環境経営計画、環境経営計画実績一覧表の承認 ⑧ 環境経営目標の取り組み評価と今後の具体策の承認 ⑨ EA21委員会への出席及び議題の審議	EA21委員会	担当する課の環境経営システム全般を維持・管理する。 (代表者に任命された者) ① 担当する課の環境経営目標の策定 ② 担当する課の環境経営計画の策定及び実施 ③ 担当する課の環境教育訓練計画の策定及び実施 ④ 担当する課の緊急事態の特定 ⑤ EA21委員会への出席及び議題の審議、議事録作成 ⑥ 問題点は正処置の実施 ⑦ その他、担当課の環境に関する業務全般
環境管理責任者	代表者に代わり、環境経営システム全体の構築・運用に責任を持ち、それに必要な権限を有する。 (代表者に任命された者) ① 代表者へ環境経営システムの実施及び運用状況、実績等の報告 ② 代表者からの指示事項の伝達 ③ 環境への取り組みの自己チェック評価の承認 ④ 環境経営目標の達成状況の評価及び代表者への報告 ⑤ 環境経営計画、環境経営計画実績一覧表の評価及び代表者への報告 ⑥ 環境経営目標の取り組み評価と今後の具体策の達成状況の評価及び代表者への報告 ⑦ 環境教育訓練計画の承認 ⑧ 緊急事態訓練及び作業標準書の承認 ⑨ 環境関連法規順守状況の承認 ⑩ 問題点は正処置に関する承認 ⑪ 環境コミュニケーションの対応に関する承認 ⑫ EA21委員会の召集、出席及び議題の審議	全従業員	【業務課】 ① 環境経営計画の実施及び是正・改善 ② 環境教育訓練計画の実施及び是正・改善 ③ 環境関連法規の特定、監視及び評価 ④ 「法令等順守事項月次確認表」の配布及び回収 ⑤ EA21活動の社外PR ⑥ 環境コミュニケーションの対応、管理及び是正処置 ⑦ 管理事務所、植栽、場内導線の管理 ⑧ 収集・運搬関連器材の管理
EA21事務局	環境経営システムの取りまとめ及び維持管理を行う。 (代表者に任命された者) ① 環境への負荷の自己チェックの作成 ② 環境への取り組みの自己チェックの作成 ③ 環境経営目標一覧表の作成 ④ 環境経営計画、環境経営計画実績一覧表の取りまとめ ⑤ 環境目標の取り組み評価と今後の具体策の取りまとめ ⑥ 事業所全体に関わる環境教育訓練計画の策定及び実施 ⑦ 事業所全体に関わる緊急事態の特定 ⑧ EA21マニュアルの作成及び維持管理 ⑨ EA21審査人による審査への対応 ⑩ 「法令等順守事項月次確認表」の配布及び回収 ⑪ 環境関連法規の特定、監視及び評価 ⑫ 文書、記録の管理 ⑬ 環境経営システムの事務作業全般 ⑭ 環境経営レポートの作成 ⑮ EA21委員会の召集、出席及び議事進行、議題の審議		【処理・リサイクル課】 ① 環境経営計画の実施及び是正・改善 ② 環境教育訓練計画の実施及び是正・改善 ③ 課内の環境コミュニケーションの対応及び管理並びに是正処置 ④ 各処理施設棟、休憩所の管理 【解体事業課】 ① 環境経営計画の実施及び是正・改善 ② 環境教育訓練計画の実施及び是正・改善 ③ 課内の環境コミュニケーションの対応及び管理並びに是正処置

4. 許認可・許可品目

■ 許可内容

許可証	管轄	優良認定	許可番号	許可年月日	許可有効年月日
一般廃棄物収集運搬業	福知山市	—	福知山市指令第126-1号	2021年5月1日	2023年4月30日
	綾部市	—	綾部市指令第251号	2022年4月1日	2024年3月31日
産業廃棄物処理業 (中間処理(破碎・選別)・安定型最終処分)	京都府	—	第2640000745号	2021年12月13日	2026年8月25日
産業廃棄物収集運搬業	京都府	—	第02610000745号	2019年6月3日	2026年8月25日
	兵庫県	—	第02808000745号	2021年4月19日	2026年4月18日
	大阪府	—	第02700000745号	2021年4月9日	2026年4月8日
	滋賀県	—	第02501000745号	2020年3月23日	2025年3月2日
	奈良県	—	第02900000745号	2017年12月10日	2022年12月9日
	三重県	—	第02400000745号	2021年5月31日	2025年11月29日
	福井県	—	第01808000745号	2019年3月5日	2023年11月9日
特別管理産業廃棄物収集運搬業	京都府	—	第02650000745号	2019年7月29日	2024年5月29日
	兵庫県	—	第02858000745号	2018年11月10日	2023年11月9日
	大阪府	—	第02750000745号	2022年4月24日	2027年4月23日

許可	建設業の種類	許可番号	許可年月日	許可有効年月日
一般建設業	土木工事業・石工事業・舗装工事業・水道施設工事業・とび・土木工事業 ・鋼構造物工事業・しゅんせつ工事業・解体工事	京都府知事(般-1)第32563号	2019年8月6日	2024年8月5日

■許可品目一覧

許可品目		中間処理 京都府	安定型 最終処分	収集運搬									
		京都府	京都府	京都府	福知山市	綾部市	兵庫県	大阪府	滋賀県	奈良県	三重県	福井県	積替保管
産業廃棄物	廃プラスチック類	●		●			●	●	●	●	●	●	●
	紙くず	●		●			●	●	●	●	●	●	●
	木くず	●		●			●	●	●	●	●	●	●
	金属くず	●		●			●	●	●	●	●	●	●
	繊維くず			●			●	●	●			●	●
	ガラスくず、コン クリートくず及び 陶磁器くず	●	●	●			●	●	●		●	●	●
	がれき類	●	●	●			●	●	●		●	●	●
	燃え殻			●			●					●	
	汚泥			●			●					●	
	廃油			●			●					●	
	動植物性残渣			●			●					●	
	鉱さい			●									
	ばいじん			●								●	
特別管理 産業廃棄物	廃油			●			●						
	廃石綿等			●				●					
一般廃棄物	生ゴミ					●							
	紙類					●							
	布類					●							
	プラスチック類					●							
	ごみ				●								
	粗大ごみ				●								

5.施設の概要

処理・リサイクル課

- ▶ 第3処理場
 - ▶ 第4処理場
 - ▶ 安定型最終処分場
 - ▶ 積替・保管施設
-
- ・ 産業廃棄物中間処理
 - ・ 産業廃棄物積替・保管
 - ・ 産業廃棄物最終処分



■ 各施設の紹介

第3処理場 選別施設



第3処理場では、充実した設備で廃棄物を受入れることにより、効率よく再生可能な廃棄物を選別するように努めています。また埋立処分となる廃棄物をより削減出来るよう取り組んでいます。更なる再資源化率及び作業効率の向上を目指し、選別方法や作業工程等を定期的に見直しています。

▶ 処理能力 ・ 1,040m³/日

▶ 許可品目

- ・ 廃プラスチック類
 - ・ 紙くず
 - ・ 木くず
 - ・ 金属くず
 - ・ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
 - ・ がれき類
- 計6品目



▶ 処理工程



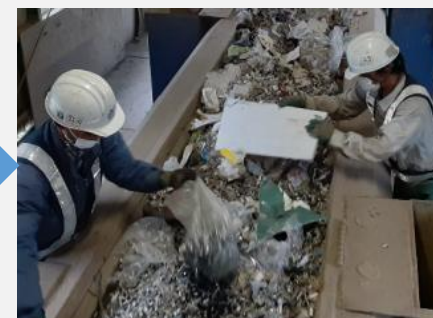
【重機選別・土間選別】

搬入廃棄物を油圧ショベルにて粗選別することにより、次工程であるトロンメルの負荷低減及び回収効率の向上を図ります。



【トロンメル】

ドラム式選別機に混合廃棄物を投入し30mm以下の細かな廃棄物を除去することにより、手選別ラインでの作業が容易となります。



【手選別ライン】

コンベアより搬送された廃棄物の中から、従業員の手作業により効率良く再資源化物を回収しています。

第4処理場 破碎施設



第4処理場では、がれき類を破碎処理しグループ会社の施設にて再生碎石へとリサイクルされています。またリサイクルが困難な廃棄物については安定型最終処分場または、グループ会社の管理型埋立処分場で適正に処理されます。

- ▶ 許可品目
・ がれき類

- ▶ 処理能力
・ 311.2 t / 日



積替・保管施設



積替・保管施設は、各取引先等から排出された廃棄物を中間処理施設又は最終処分場へ直接搬入せずに、許可を受けた施設にて一時保管し積替える施設です。そうすることで、運搬の効率化を図りながら廃棄物の処理コストの削減にも努めています。

- ▶ 許可品目
・ 廃プラスチック
・ 紙くず
・ 木くず
・ 金属くず
・ ガラスくず、コンクリートくず
及び陶磁器くず
・ がれき類
・ 繊維くず

- ▶ 保管上限
・ 120m³

- ▶ 施設面積
・ 306.48m²



安定型最終処分場 埋立処分



安定型最終処分場では、リサイクル処理が困難で性状が変化しないものを埋立処分しています。事前に埋立処分物の展開検査を実施することで許可品目以外の異物混入を防いでいます。また地域環境への影響が最小限に留まるよう配慮しています。

- ▶ 許可品目
・ がれき類
・ ガラスくず、コンクリートくず
及び陶磁器くず

- ▶ 埋立容量
・ 86,000m³



■使用車両・重機の紹介

業務課 運輸チーム

■収集運搬車両の概要



収集運搬車両	台数
25 t ・ 10 t ダンプ車	4 台
10 t 脱着式コンテナ車	3 台
4 t 脱着式コンテナ車	6 台
3 t ユニック車	3 台
3 t ダンプ ・ 3 t パッカー車	2 台



★3tユニック車



★4t脱着式コンテナ車



★25tダンプ車

処理・リサイクル課

■使用重機の概要



車両形式	台数
油圧ショベル	5 台
ホイールローダー	2 台
フォークリフト	6 台
破碎機	2 台



★油圧ショベル

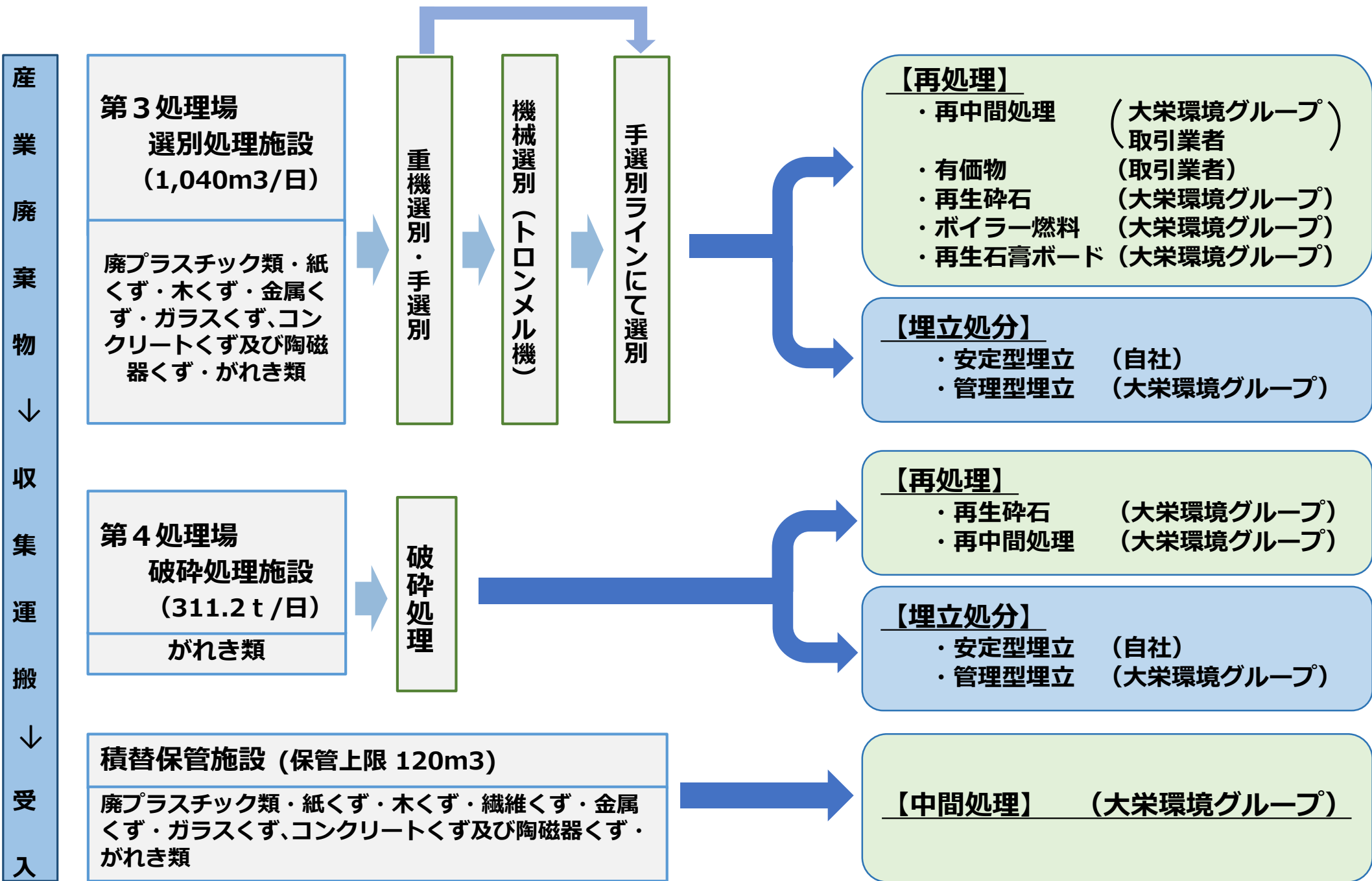


★ホイールローダー

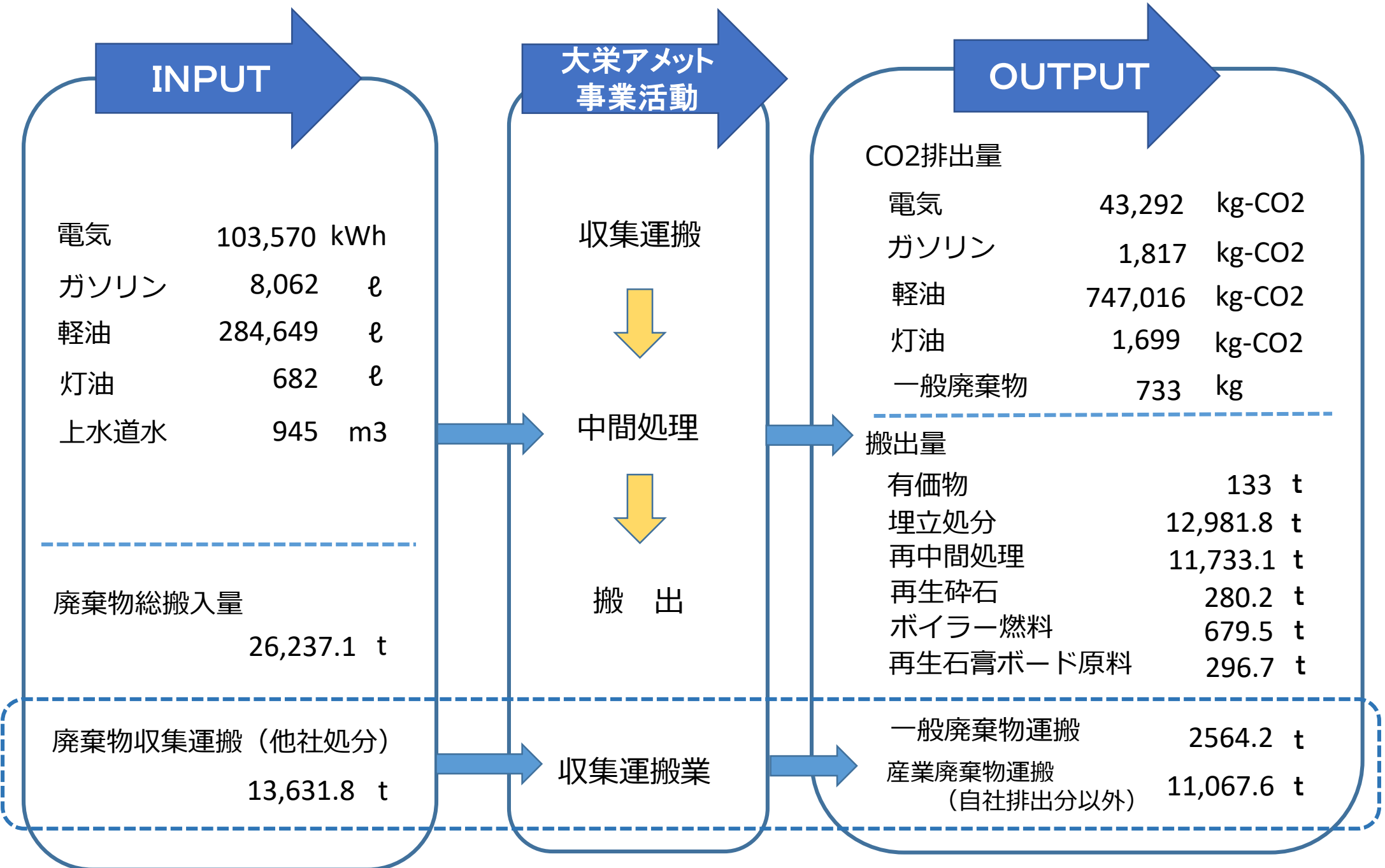


★破碎機

6. 処理フロー



7. マテリアルバランス



8. 過去4年間の二酸化炭素排出量の推移

項目		2018年	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	CO2排出量(kg-CO2)	771,383	862,223	793,3450	810,725
二酸化炭素排出量削減					
社有車の経済的運転 ガソリン	使用量(ℓ)	5,946	9,496	6,434	8,062
	CO2排出量(kg-CO2)	13,804	22,047	14,937	18,717
収集運搬車両の経済的運転 軽油	使用量(ℓ)	209,882	234,531	225,770	240,011
	CO2排出量(kg-CO2)	550,801	615,489	592,498	629,871
重機の経済的運転 軽油	使用量(ℓ)	59,826	67,909	53,861	44,638
	CO2排出量(kg-CO2)	157,004	178,216	141,350	117,145
灯油使用量	使用量(ℓ)	857	920	689	682
	CO2排出量(kg-CO2)	2,136	2,293	1,717	1,699
電気使用量 ※ 関西電力 2017年度 調整後排出係数 0.418kg-CO₂/kWhを使用	使用量(kWh)	113,967	105,689	102,506	103,570
	CO2排出量(kg-CO2)	47,638	44,178	42,848	43,292
上水道使用量削減					
上水道使用量	使用量(m3)	2,158	1,500	1,172	945
排出量削減					
事業系一般廃棄物排出量	排出量(kg)	806	915	776	733

9. 環境活動計画の評価

■ 環境経営目標及び達成状況一覧

目標項目	2021年度			中長期の目標		
	目標値	実績値	評価	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量削減						
社有車の経済的運転 ガソリン (km/ℓ)	16.51	17.24	○	2021年度目標値 0.5%向上	2021年度目標値 1.0%向上	2021年度目標値 1.5%向上
CO2排出量(kg-CO2)	—	18,717.4				
収集運搬車両の経済的運転 軽油 (km/ℓ)	4.15	4.22	○	2021年度 目標値維持	2021年度目標値 0.5%向上	2021年度目標値 1.0%向上
CO2排出量(kg-CO2)	—	629,870.7				
重機の経済的運転 軽油 (ℓ/h)	10.015	9.215	○	2021年度目標値 0.5%削減	2021年度目標値 1.0%削減	2021年度目標値 1.5%削減
CO2排出量(kg-CO2)	—	117,145.3				
灯油使用量 (ℓ)	685.8	681.8	○	2021年度目標値 0.5%削減	2021年度目標値 1.0%削減	2021年度目標値 1.5%削減
CO2排出量(kg-CO2)	1,709	1,699				
電気使用量 (kWh)	109,445.1	103,570	○	2021年度目標値 0.5%削減	2021年度目標値 1.0%削減	2021年度目標値 1.5%削減
CO2排出量(kg-CO2)	45,748	43,292.3				
上水使用量削減						
上水使用量 (m3)	816	945	×	2021年度目標値 0.5%削減	2021年度目標値 1.0%削減	2021年度目標値 1.5%削減
廃棄物排出量削減						
リサイクル率の向上 (%)	16.8	13.9	×	2021年度 目標値維持	2021年度目標値 0.5%向上	2021年度目標値 1.0%向上
事業系一般廃棄物排出量 (kg)	772.56	733.27	○	2021年度目標値 0.5%削減	2021年度目標値 1.0%削減	2021年度目標値 1.5%削減

■ 社有車の経済的運転 ～燃費の向上～



達成!!

目標値

16.59 km/ℓ

実績値

17.24 km/ℓ



取 組 内 容	評 価
給油量・走行距離を記録し、燃費データを蓄積する	◎
適切な車両整備を実施する（空気圧チェックなど）	◎
エコドライブの推進及び実施	◎

Pick Up



【2021年度対象車両（社有車）】

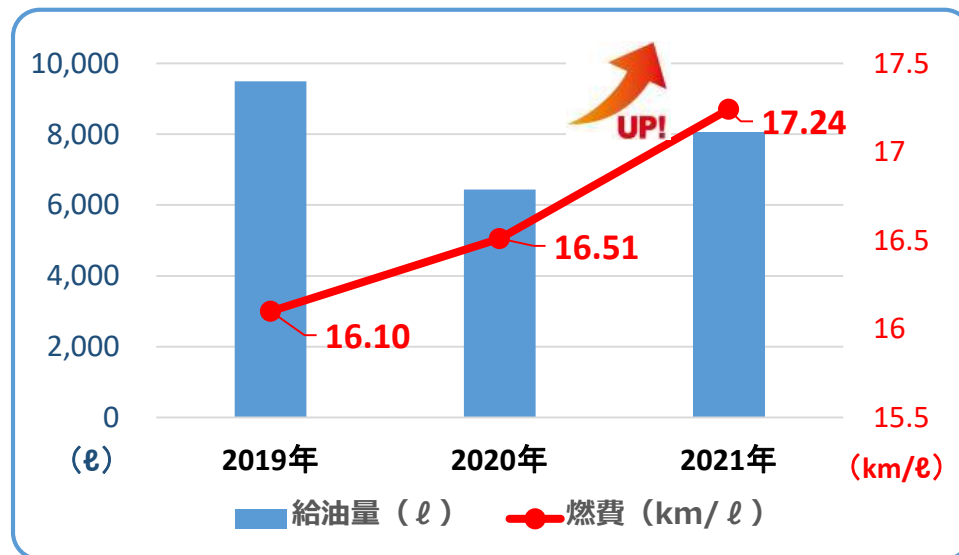
営業車両 : 3 台
 業務課 総務チーム : 3 台
 業務課 運輸チーム : 1 台
 処理・リサイクル課 : 1 台
 解体事業課 : 3 台
 業務課メンテナンスチーム : 1 台
 計 12 台



営業車両にEA21ロゴマークを表示

各車両を対象に安全運転日報の記入を徹底！
 運転者、行先、走行距離、乗車時間、車両の整備状況等を都度
 チェック出来るようにしています。

■ ガソリン使用量と燃費グラフ

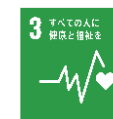


■ 担当者のコメント

2021年度では年間の目標値を達成することが出来ました。酷暑や厳冬でエアコンの使用頻度が例年より多かったですが、アイドリングストップや急発進、急ブレーキを避ける運転等を各自が意識して行い、エコドライブを実施することが出来ました。

2022年度は対象車両が10台に減少します。より正確な燃費を把握する為に月の最終日の給油を徹底するとともに、使用頻度や走行距離、運転者といった各車両の違いをさらに比較・分析し、フィードバックを行うことで今後のエコドライブの改善に繋がるように活動を続けていきます。

■ 収集運搬車両の経済的運転 ～燃費の向上～



達成!!

目標値

4.15km/ℓ

実績値

4.22km/ℓ

取 組 内 容	評 価
給油量・走行距離を記録し、燃費データを蓄積する	◎
乗務員を対象に運用方法を教育する（SDGsの取り組み・環境リ-の内容）	◎
適切な車両整備を実施する（空気圧チェックなど）	◎
エコドライブを推進、実施する	◎

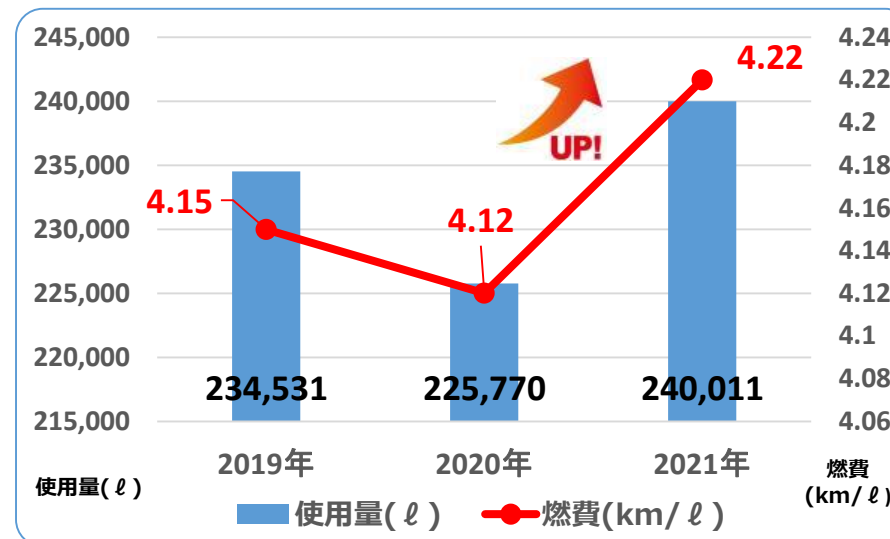
Pick Up



「急発進・急停止の回避」・「必要最低限のアイドリングの徹底」等を実行することにより軽油の使用量を削減！

毎月の安全会議にて各乗務員にエコアクション21の活動内容の周知や個々の燃費を把握してもらうことによりエコドライブへの意識付けを行っています。

■ 軽油使用量と燃費グラフ



遠方の収集増加により軽油使用量は増加したものの、乗務員一人ひとりがエコドライブを心掛け、燃費目標達成に繋がりました。

■ 担当者のコメント

2021年度にドライブレコーダーを設置する事により乗務員の運転意識の向上に繋がりました。自重計を取付け、過積載を防止することによりエンジン負荷軽減にも努めています。また、無線機を各車両に取付けることで乗務員同士や処理施設との意思疎通を円滑にし、荷待ち時間を削減することでアイドリング時間を短縮しています。

2022年度の目標値については、前年度の燃費目標を維持しながら毎月の各車両の運用方法や燃費の推移を分析する等して、更なる燃費の向上を目指していきます。

■ 重機の経済的運転 ～燃費の向上～



達成!!

目標値

10.015 ℓ / h

実績値

9.215 ℓ / h

取 組 内 容

評 価

アイドリングストップを実施する

◎

搬入量に見合った効率の良い運用で、重機を使用する

◎

重機の日常メンテナンス、点検を計画的に実施する

◎

Pick Up

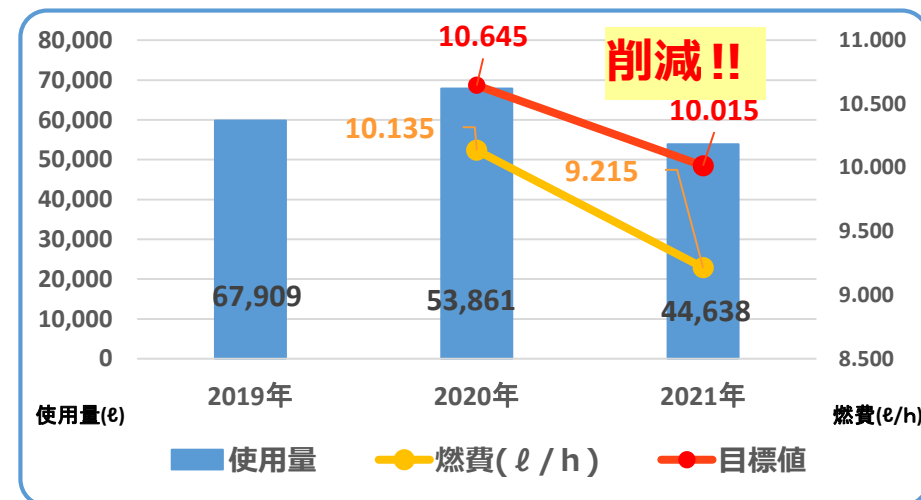


荷空け場所の選定を行い
作業工程数を削減!!

性状確認や搬入量の連絡をタイムリーに行うことで荷空け場所の選定をスムーズに行うことができ**作業工程数を削減!!**

搬入量減少時は、重機を停止させ手選別作業を中心に行う等、日々作業工程の分析を行い目標達成に向け取り組んでいます。

■ 軽油使用量・燃費・CO2排出量グラフ



※2020年度から目標値表記変更

原単位：ℓ/h(軽油総使用量/重機総稼働時間)

アイドリングストップや搬入廃棄物の性状に応じた重機作業を心掛け、各月で燃費推移を周知した結果、従業員の意識向上に繋がりました。

■ 担当者のコメント

搬入廃棄物の性状を作業員で共有することで効率よく処理作業が実施できました。また朝礼やミーティングの場ではアイドリングストップの徹底を呼び掛け続けました。教育の面では、メンテナンスの重要性を周知し各重機の点検を強化しました。その結果、運転手の意識にも変化が現れ軽油使用量の削減に繋がりました。

2022年度も効率の良い作業方法を現場で随時指示・指導し、アイドリングストップやメンテナンスを継続していきます。また燃料使用量・燃費を毎月周知し意識付けを行い目標達成に繋がります。

■灯油の使用量



達成!!

目標値

685.8 ℓ

実績値

681.8 ℓ

取 組 内 容

評 価

灯油使用データを蓄積する

◎

室内温度を適正に保ち、灯油を節約する

◎

Pick Up



灯油購入前には各課に事前連絡
残量に余裕がある課は他課に分配する

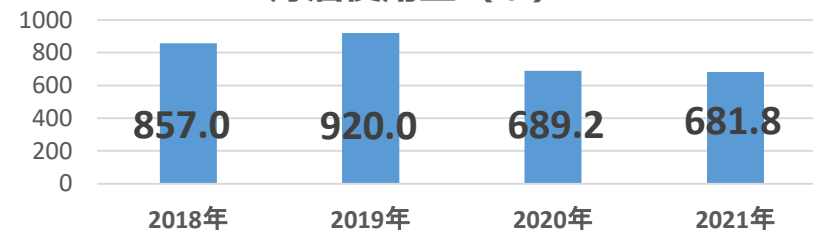


室内温湿度をチェック！
快適温度になったら
スイッチオフ

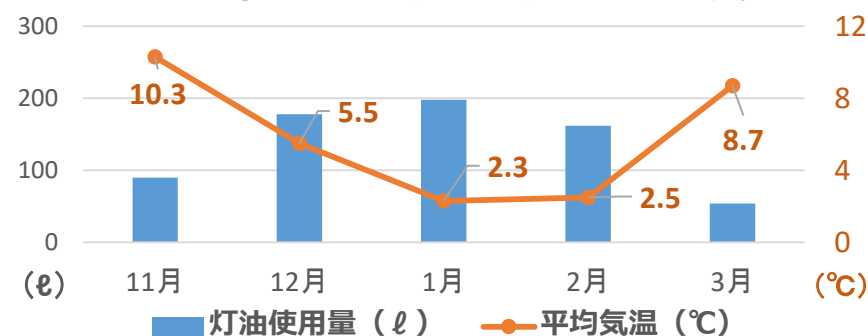


■灯油使用量と平均気温のグラフ

灯油使用量 (ℓ)



2021年度 月別灯油使用量と平均気温



■担当者のコメント

2021年の冬は例年と比べ厳冬で、灯油の使用量を昨年度より減らすことが大変難しかったです。

そんな中でも各課、各自が協力し、灯油購入時の声掛けや室内温度の管理をこまめに行うことで目標を達成することが出来ました。

2022年度も引き続き、各課での事前購入連絡、相談を徹底し、灯油の一度の購入量を少量ずつにすることで、使用量を調整・節約し、目標達成に繋げていきます。

■電気の使用量

達成!!

目標値

109,445.1kWh

実績値

103,570kWh

取 組 内 容

評 価

電気使用量、料金を把握する

◎

エアコンの使用場所の限定や温度管理を実施する

◎

不要な照明やPCディスプレイのOFFを実践する

◎

Pick Up



冷暖房温度は適温に
(冷房:28℃ 暖房:20℃)

エアコンスイッチ
部分に設定温度目
安を表示!

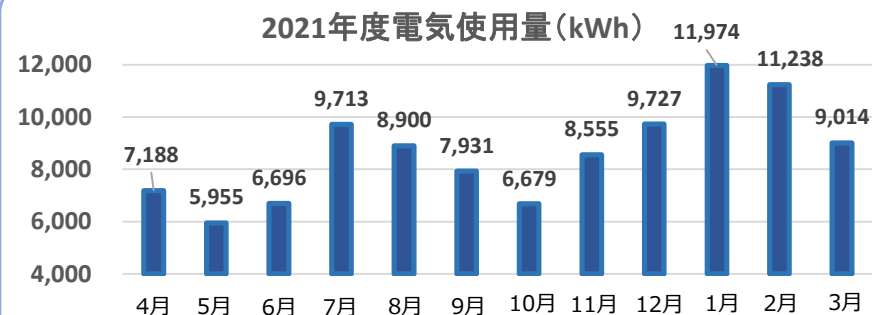
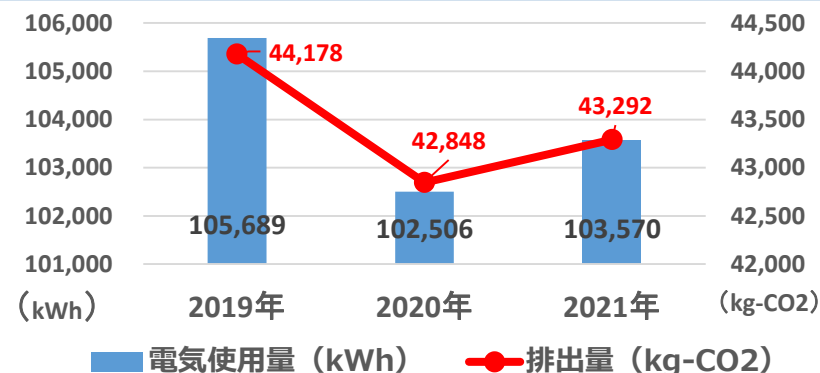
温湿度計で室内温
度を管理・把握



本部ビル屋上ではソーラ
ーパネルによる太陽光発電を
行っています。
また、積替保管施設では
LED照明を使用しています



■電気使用量・CO2排出量グラフ



■担当者のコメント

8月に本部ビルの太陽光発電設備が故障するというトラブルがあり、電力消費が多くなる夏季と冬季は昨年度と比較し電気使用量が増加しました。しかしそれらを補って各自がこまめな節電に努めた結果年間の目標達成に至りました。

2022年度も依然新型コロナウイルス蔓延によりマスクを着用していることが想定される為、熱中症対策を行いつつも温湿度管理を徹底し冷暖房を使用するように周知します。また、不要なPCや照明の切り忘れが無いように呼び掛けを続けます。

■水道使用量の削減

未達成

目標値

816m3

実績値

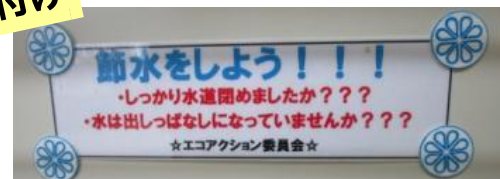
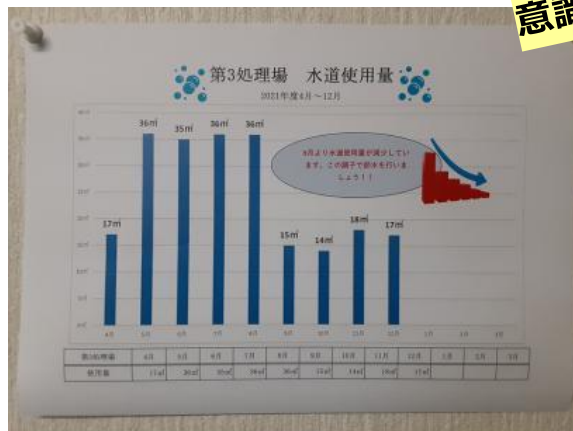
945m3

取 組 内 容	評 価
使用水量・料金を把握する	◎
蛇口の閉栓確認	◎
使用状況を把握する	◎
節水推奨シール等により注意喚起を実施する	◎

Pick Up

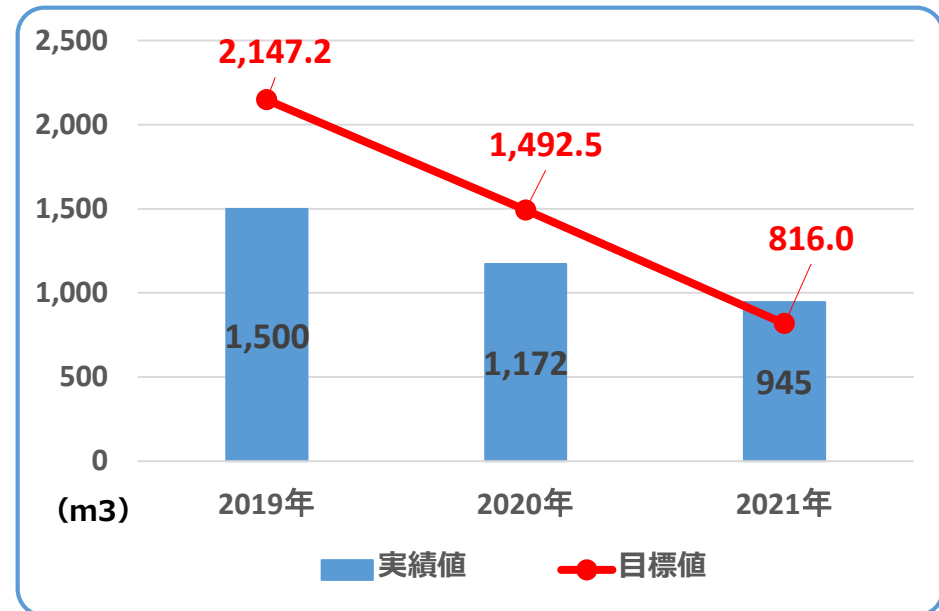


意識付け



四半期ごとに水道使用量の掲示を行い啓発活動により意識を高めています。朝礼時での節水喚起も行い確実に効果があらわれています。

■水道使用量グラフ



■担当者のコメント



処理施設で散水装置が故障したことや、水道管破損による漏水の影響で、一時的に水道使用量が増加し目標達成には至りませんでした。しかし破損・漏水していた期間以外の月は目標を達成出来ていることから、従業員の節水に対する意識が高まっていると感じます。

2021年度の水道管破損の影響を踏まえ、2022年度は施設点検の頻度とチェック項目を見直し、水道管設備の異常にいち早く対応できるように体制を改善し、水道使用量の削減に繋がります。

産業廃棄物排出量の削減 ～再資源化率の向上



未達成

目標値

16.8%

実績値

13.9%

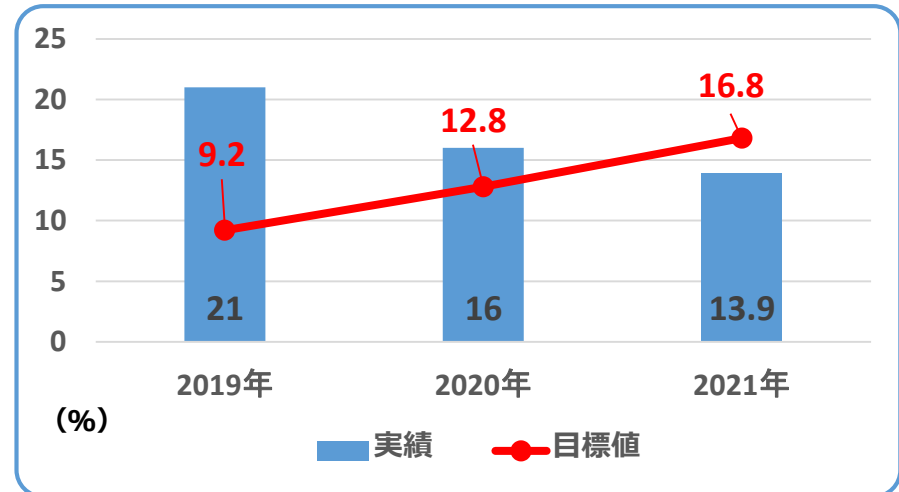
取 組 内 容	評 価
朝礼時に再資源化強化の呼び掛けを実施する	◎
廃棄物・有価物・選別方法等に関する指導・教育を行う	◎
廃棄物の性状に見合った、効率の良い選別方法を検討する	◎

Pick Up



搬入廃棄物の状態を入念に確認しリサイクル品目を見極め、荷降し後は確立された選別フローにて効率良くリサイクル品目の回収に努めています。また、教育の拡充により従業員の理解度を深め更なる回収率向上を目指していきます。

リサイクル率グラフ



新型コロナウイルス蔓延により2020年度より搬入量が減少しましたが、教育の強化により作業手順の認識が深まった結果、リサイクル率が向上しました。

担当者のコメント



木くずの搬出によりリサイクル率が向上しますが、2021年8月に木くずの二次搬出先が遠方に変更となり、搬出頻度が減少したことで8月以降のリサイクル率が低下しました。しかし、搬出週間目標値を設定し、目標値の周知及び各種教育を実施したことにより、3月単月でリサイクル率が16.6%となり目標達成まであと一歩のところまで来ることが出来ました。

引き続き搬入廃棄物の性状確認を強化し、リサイクル品目抽出の呼び掛けや教育を行い目標達成に繋げていきます。

■事業系一般廃棄物搬出量の削減

達成!!

目標値

772.56kg

実績値

733.27kg

取 組 内 容	評 価
廃棄物の分別を徹底し、排出量を把握する	◎
裏紙印刷を促進する	◎
コピー用紙の使用量を削減する為、電子データを活用する	◎
マイ箸及び再生利用できる食器使用の推進	◎
ペットボトルキャップ、使用済み切手を集めて寄付する	◎

Pick Up



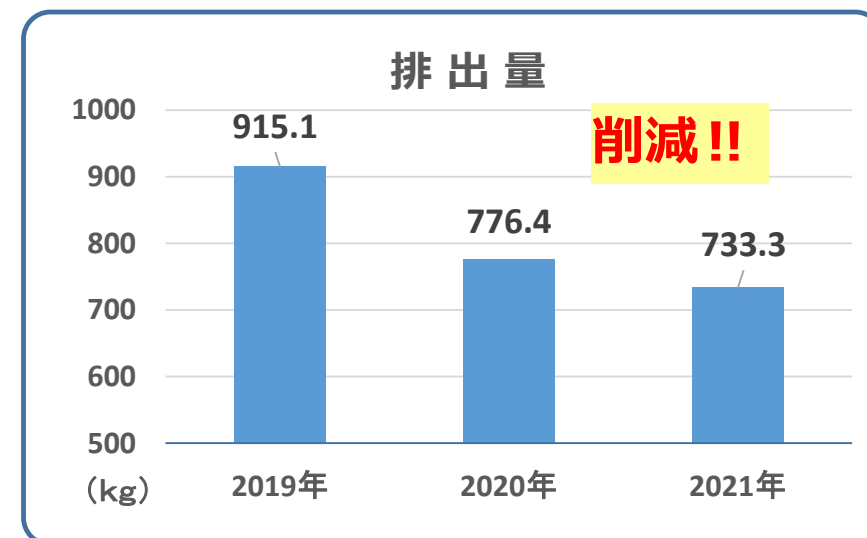
分別の目安を
各ゴミ箱に掲示



複合機の横に
裏紙を設置して
利用しやすく!



■廃棄物排出量グラフ



■担当者のコメント

2021年度は分別の徹底を図りました。各課、各フロアのゴミ箱に分別種類や注意事項を表示して分別しやすくしました。また裏紙を活用する取り組みや、消耗品の購入・使用を控えるよう呼び掛けを行った結果、全体の廃棄物排出量の減少に繋がりました。

2022年度は、電子データをより活用し、紙くずを主とした燃えるごみの削減に努めます。

また、プラスチック類については過重包装を断ったり、再利用を心掛ける等を皆で共有し削減に向けて取り組みを行います。

■ 順守事項

環境関連法規制等の順守状況の結果、環境法規制等の違反はありませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

■法令等順守事項月次確認表

-24-

11. 教育・訓練

■ 教育

年間計画に基づき各種教育・訓練を実施しています。

教育・講習では、環境関連法規や廃棄物の選別要領、収集運搬時における安全運転等の教育によりコンプライアンス意識を高め、事故防止に努めています。訓練内容については、想定される緊急事態について作業手順書に沿った対応要領を訓練実施しています。

2021年度 経営方針等教育



新入社員教育



運輸チームにおける教育



処理・リサイクル課における教育



■ 教育・訓練内容

部署	教育項目
各課共通	EA21活動内容及び環境経営活動における目標の周知
	経営方針等教育
	EA21新入社員教育
運輸チーム	安全運転・エコドライブ講習
	収集車両における法的知識の教育
	収集運搬中の火災訓練
	タイヤチェーン装着講習
処理・リサイクル課	廃棄物貯留ヤードからの火災訓練
	油類流出時に対する対応
	廃棄物飛散に対する対応
	重機の経済的運転講習
	リサイクル及び廃棄物に関する講習
	職場生活におけるCO2排出量削減講習(電気、水道、一般廃棄等)

■ 訓練



運輸チーム緊急事態対応訓練

安全運転講習や収集運搬における法律的知識の教育（過積載走行の危険性、通行禁止区域、マニフェストの記載方法等）及び廃棄物に関する講習や緊急時の対応訓練（火災発生時の対応、タイヤチェーン着脱要領等）に関して計画的な講習・訓練を実施しています。

新入社員に対しては、廃棄物収集運搬に関する基礎知識や大型車両の安全運転についての順法精神を高めるとともに、経験が長い乗務員に対しては、危機感が希薄となり日々の業務が漫然とならないように、再度各種教育を実施して緊張感の保持に努めています。



消火訓練

処理場内で火災が発生したと想定し、訓練用の水消火器を使用した消火訓練を実施しています。迅速な初期消火対応が出来るように普段から消火器の位置を確認する等、日々火災予防に対する知識を深めています。また一人一人が訓練に参加することで防災意識を高め、いざという時に冷静に対応できるように訓練しています。



避難訓練

地震や火災といった災害発生時における避難訓練を実施しています。

また、河川の氾濫を想定した避難訓練も実施し、緊急事態に備えています。実施方法としては、訓練開始日時を非公開にして行い、各作業員が冷静に安全な場所まで避難して、素早く安否確認ができるように訓練しています。



12. 環境活動

■ 美化作業



大栄アメットでは、月に1回各施設周辺の清掃活動を実施し、周辺の美化に努めています。

美化活動を通じて、地域の方々との交流や従業員の環境保全に対する意識啓発を目的とし、環境改善を推進しています。

月1回の周辺社外清掃の様子



毎月暑くても寒くても皆頑張って美化作業に励んでいます。

年1回の周辺溝清掃の様子



2021年度の期間中 **182.11kg** 回収しました。



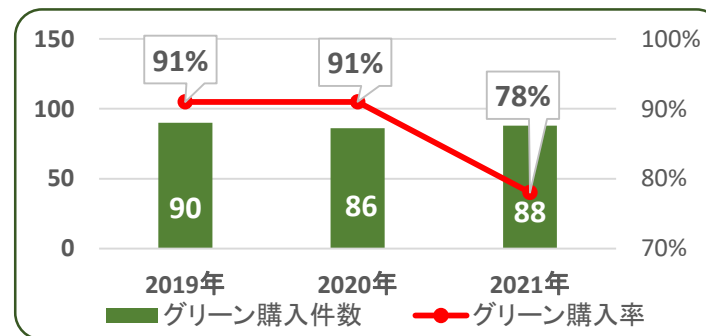
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

■ グリーン購入の推進

取り組み内容



- ①購入品目、数量、料金を把握する。
- ②環境に配慮した商品の情報共有を行い、事務用品等購入の際に活用する。



事務用品については、可能な限りグリーン商品を購入しています。グリーン商品の購入率を把握することで、各従業員の環境意識をアップさせる一つの取り組みとしています。

■ 環境配慮への取り組み

太陽光発電

本部ビルの屋上では、ソーラーパネルによる太陽光発電を行っています。発電した電気は売電により、環境負荷低減の一助としています。



2021年度 売電量：1,960kWh

■みどりの活動



受付時にお花でお出迎え



季節ごとに花や野菜を育てています。
四季折々の花でお客様をお迎え出来るように毎日の
水やりや時期ごとに植え替えを行っています。
また新鮮な野菜を食べることを楽しみに育てていま
す。

夏は野菜を育てています！！ピーマン・トマト・キュウリ



■三重大台町 森林再生プロジェクト～



三重県大台町にある山林崩壊跡地において、強く美しく豊かな森を再生
しようというプロジェクトを大栄環境グループとして取り組んでいます。
グループの各拠点で大台町に自生している種から苗木を育てており、あ
る程度育った苗木は最終的に大台町に持ち帰り植樹します。
現地にて種採した種を頂き、2018年から育成しているウリハダカエデは
年々ぐんぐん成長しています。大きく育ち森へ植樹する日を心待ちにし
ています。

※2022年度11月に植樹を予定しています。



苗木の様子



■ コロナウイルス感染症の対策

各事業所では従業員共々、毎朝の検温チェック・手洗い・消毒、マスク着用・事務所の換気や備品類消毒等の感染予防対策に努めています。各事業所でクラスターが発生すれば、事業活動に大きな支障を来すこととなります。各個人においても危機感を持って適宜手指の消毒等に心掛けています。

ビニールカーテンの設置 アルコール消毒

昨年よりビニールカーテンを装着し感染対策を行っています。また、受付カウンターに消毒液を設置し来場者様に手指のアルコール消毒をお願いしています。



手洗い・消毒・換気 体調管理の徹底

従業員は毎朝出勤時に、手指のアルコール消毒とあわせて体温、体調チェックを実施しています。また毎日定時に換気をするとともに、社内のドアノブや複合機等の皆がよく触れるものは、一日に二回消毒を励行し感染予防に努めています。

- ☒ 毎朝体調管理と体温チェック
- ☒ 手洗い消毒・うがい
- ☒ マスク着用
- ☒ 定期的に社内の消毒を行う
(10:00・15:00)
- ☒ こまめに換気を行う

■ 熱中症への対策

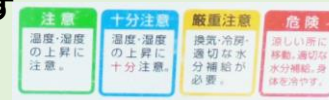


夏場の熱中症対策として、処理場では熱中症に対する基礎的知識の教育を実施するとともに、各作業員同士が声を掛け合うことでこまめな水分補給や休憩を取るように心掛けています。



環境管理温湿度計を設置

WBGT(暑さ指数)を計測し休憩指示を行っています



水分補給の声掛け

20分おきに声掛けをし、こまめに休憩をとり水分補給を行っています。



熱中症対策

10時と14時にWBGT温度を計測
30℃を超える場合は 50分作業 10分休憩
(体調不良者及び糖尿病や高血圧の者は作業禁止)
32℃を超える場合は 40分作業 20分休憩
(休憩が万全の者以外は作業禁止)
34℃を超える場合は 20分作業 30分休憩

現場休憩室に塩分飴を常備

誰でもすぐに塩分を補給できるように、休憩室に塩分飴を置きました。汗をかき失われる塩分を手軽に補給することが出来ます。



13. 大栄環境グループ概要

大栄環境グループの概要

組織構成

子会社 31 社

大栄環境株

2022年7月現在	
グループ従業員数	2,534人
専属協力会社従事数	774人
合計従事数	3,308人

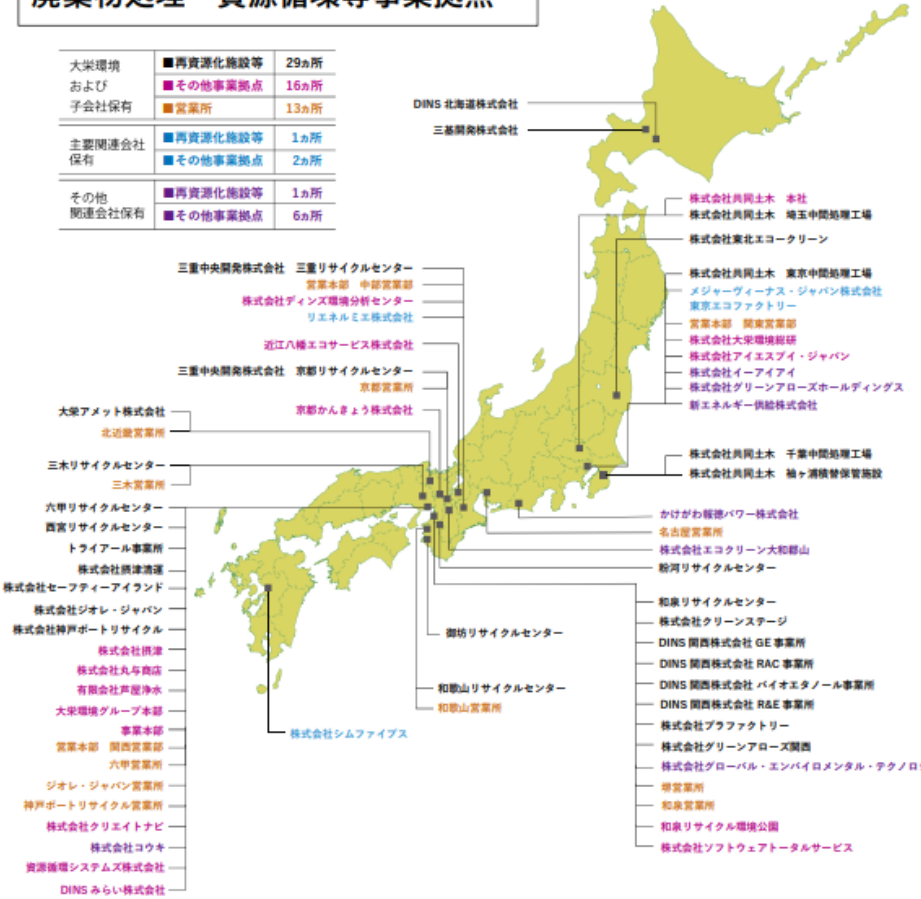
同一資本 21社			
三重中央開発株	DINS 関西株	株共同土木	株摂津清運
株セーフティーアイランド	京都かんきょう株	大栄アメント株	株摂津
三基開発株	福知山ゴルフ株	株総合農林	株クリエイटनाビ
株ソフトウェア トータルサービス	株丸与商店	株ディンズ環境 分析センター	株芦屋浄水
株大栄環境総研	DINS 北海道株	株ブラファクトリー	株東北エコクリーン
DINS みらい株			
経営権を持つ共同出資会社 10社			
株ジオレ・ジャパン	出資企業	大栄環境株、関西電力株、神戸製鋼株、市大林株、奈良村株、豊島建設株、五洋建設株、清水建設株、大成建設株、徳川中工務株、東亜建設工業株、東洋建設株、西松建設株	
株神戸ポートリサイクル	出資企業	大栄環境株、井本商運株、信井運輸株、其美株、神戸製鋼株、市シムブンコーポレーション、日鉄物流株	
株クリーンステージ	出資企業	大栄環境株、市大林株、大成建設株	
資源循環システムズ株	出資企業	大栄環境株、(一社)資源循環ネットワーク、ユニアデックス株	
近江八幡エコサービス株	出資企業	大栄環境株、三重中央開発株、三重重工環境・化学エンジニアリング株、株秋村株	
株グリーンアローズ関西	出資企業	DINS 関西株、株グリーンアローズホールディングス	
株アイエスビー・ジャパン	出資企業	大栄環境株、Veolia Nuclear Solutions, Inc.、株油地株、株安藤・岡、ニチアス株	
農事組合法人ねぎばーず	農事組合法人横の里	農事組合法人里山	

関連会社 10 社

メジャーヴィーナス・ジャパン株	リエネルミエ株	株シムファイブス	株グローバル・エンバイロメンタル・テクノロジ
株コウキ	株エコクリーン大和郡山	株イーアイアイ	株グリーンアローズ ホールディングス
新エネルギー供給株	かけがわ報徳パワー株		

廃棄物処理・資源循環等事業拠点

大栄環境 および 子会社保有	■再資源化施設等	29ヵ所
	■その他事業拠点	16ヵ所
	■営業所	13ヵ所
主要関連会社 保有	■再資源化施設等	1ヵ所
	■その他事業拠点	2ヵ所
その他 関連会社保有	■再資源化施設等	1ヵ所
	■その他事業拠点	6ヵ所



産業廃棄物処理施設 総許可能力

選別・破砕・再資源化施設	焼却・ガス化改質・焼焼	最終処分場 総埋立容量
50,180 t/日	2,067 t/日	30,437 千㎡

※各リサイクル法に対応した施設を有し、総許可能力の約 70% は一般廃棄物処理としての許可も有する。
※8 地域で最終処分場の設置許可を有する。

汚染土壌処理施設 総許可能力

熱分解・溶融	洗浄	乾式磁力選別	分別・不溶化・化学脱着
487 t/日	708 t/日	2,520 t/日	7,080 t/日

※上記 8 地域の最終処分場のうち 4 地域で埋立処理施設としての許可を有する。

14. 大栄環境グループ取り組み

■環境ラリー

環境ラリーは全従業員参加型の環境活動です。項目はSDGsの17個の目標を組み合わせたものとなっており、実施状況を数値化し評価するもので、誰でも無理なく取り組む事ができる環境活動となっています。環境ラリーに取り組む事で環境に興味・関心を持ち、自発的に環境活動に参加してもらうことを狙いとしています。

環境ラリー 2020→2030		部署名(大栄アメント 営業課 運輸チーム)/氏名()																		
項目	内容	点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計					
1	支援に要する寄付・基金を行う ～できることから始めよう～	点、金額、回数に問わず	1点	0																
2	食品ロスをなくす	食べ残しをしない	1点	1																
3	エコキャップの提出(回数に問わず) アルミ缶の提出	～原料料として輸入しワクチンへ～ 5個未満1点(5個以上+1点)	1点 (+1点)	1																
4	環境クイズに答える (環境レターに掲載)	毎月出されるクイズに回答 答え	1点	1																
5	ジェンダーに関する記事を読む ～知ることから始めよう～	読書は回らない	1点	1																
6	漏水を止める	漏水にかかわる行動をすれば 回数に問わず	1点	1																
7	自家消費(バイク)・営業車・収束車 など運転する車の燃費の把握	燃費把握で1点 / 運転しない人は1点 対象車【マイカー・パセリ】	1点	1																
8	ノーマル営業車より15分以内に会社 (営業車も1点/月)	～好きなことをして過ごそう～ 日付	1点	1																
9	大栄環境Gr. で働くことが「GOAL 8」に 繋がっている認識をする(全員 1点)	私の本音内容は 【 収束運搬業務 】	1点	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
10	古物の提出	量に問わず	1点	0																
11	社会貢献活動・地域のイベントへの参 加	参加したイベント名 参加1回あたり 1点	1点	0																
12	プラスチック製品を断る または 詰め替え用品の使用	回数に問わず	1点	1																
13	おどりの活動への参加(老練の手入 れ)	回数に問わず	1点	0																
グループ総項目 合計得点記入欄(No.1～No.13までの合計点)			10																	
14	事業所周遊・身の回りの美化に努める	回数に問わず	1点	1																
15	My環境活動	「 経路発運に努める 」	1点	1																
全項目 合計点記入欄(No.1～No.15までの合計点)			12																	
環境管理委員会印																				
環境管理事務局印																				

Pick Up



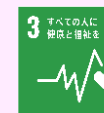
■プラスチック製品を断る または詰め替え用品の使用



レジ袋が有料化となり、社会的にもプラスチック製品が見直されている中、誰もが手軽に出来る環境活動である詰め替え用品の積極的購入やマイバックの活用により、廃プラスチック排出量の削減に努めています。
まずは、個々レベルからもSDGsに参加していきます。



■ペットボトルキャップの提出



回収したペットボトルキャップは、グループ会社にてリサイクルパレットの原料に利用しています。その原料価格相当分をJCV(世界の子どもにワクチンを日本委員会)に寄付しています。

2021年度は **54.7 kg**
(約26,256個)集まりました!!



41人分のワクチンに!



SDGs 私たちの約束

大栄環境グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

・エネルギーの創出



太陽光発電やバイオマス発電等の再生可能エネルギー発電量を高め、地域やエネルギーのクリーン化に寄与

・資源循環の推進



かけがえのない資源であるさまざまな廃棄物を効率的にリサイクルし、資源循環量を高めます

・災害復興支援



迅速な復旧・復興のため災害廃棄物の一日も早い処理を目指します

・森林保全事業の推進



環境と経済を両立させる効率的な森林保全事業を展開し、日本の林業再生に貢献します

・パートナーシップの強化



積極的なコミュニケーションやパートナーシップの強化により、さまざまな社会課題解決に貢献します

・地域循環共生圏の構築



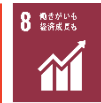
民間の発想による効率的なインフラ整備により課題を解決し地域社会へ貢献します

・2050年温室効果ガス実質排出ゼロへ



事業活動によって排出されるCO2の排出量の評価、要因分析を行い、排出抑制へ取り組みます

・ダイバーシティの推進



あらゆる人が個性を活かして自分らしく活躍できる職場づくりを進めます

15. 代表者による評価と見直しの結果

2021年度は、9月末まで緊急事態宣言等が断続的に発出されたことや半導体不足、原油高の高騰等の影響を受けた一年でした。しかしながら、環境経営目標については、概ね目標を達成することができました。重機及び車両関係では、総量による目標値から原単位による目標設定に一昨年から変更しており、事業活動の効率に更に着目できるようになりました。

また、リサイクル率の向上における取り組みについては、目標未達成の月が連続してしまい、流動的に変化する廃棄物の搬入量に対応しながらの目標達成の困難さも感じました。

2022年度の取り組みについては、未達成となった環境目標を見直し、適切な定量目標を設定します。引き続き、内部統制及び働き方改革を推進し、労働生産性の向上や人材育成・コスト削減にも尽力し、更なる環境負荷低減に挑戦していきます。

今後とも、カーボンニュートラルを始めとした持続可能な社会の実現を目指し、環境に密接した企業としての役割を再認識のうえ、積極的なESG施策を展開していきます。



代表取締役 中村 功

**資源に変えるチカラ、
自然に還すチカラ。**



大栄アメット株式会社